はじめよう協働のまちづくり

No.9

◎桧山のまちづくり

みんなの力で環境改善

桧山地域には、中世から近世にかけての史跡や建築物など多くの歴史資源が残されています。これらを守り伝えながら、特色のある地域づくりを行っていこうと桧山地域まちづくり協議会では、住民の手によるまちづくりが進められています。９月３・４日の両日には、総勢32人の参加により今年度のまちづくり事業計画に盛り込んでいた２カ所の環境整備を実施しました。

多宝院「初期消火用ため池の改修」

県の文化財に登録されている多宝院では、火災が生じた場合、消防車が到着するまでの間の消火用水が十分でなく、課題とされていました。多宝院本堂横にはかつて農業用水として利用されていたため池があります。この池を補修して初期消火用の水源を確保することにしました。作業当日は雨で地面がぬかるんでいましたが、地元の建設業に精通した人を中心に参加者みんなの協力のもと、排水機能を完備した立派なため池に生まれ変わりました。

多賀谷氏居館跡入り口「雨による悪路を解消」

桧山の来訪者の散策コースの一つとなっている多賀谷氏居館跡入り口は、雨が降ると道がぬかるみ、しばらくその状態が続きます。そこで道の両側にある既存の側溝を延長させ、ぬかるみを解消することにしました。現場は道が狭く、重機が入れないため、30㌔ほどある側溝を手で運ぶなど作業には困難も生じましたが、苦労の末に設置した側溝の効果で、今後、雨による悪路は解消されることになります。

愛着のある暮らしやすい地域へ向けて住民自ら労力を提供

まちかどウォッチング

ロビーに響き渡る心地良い音楽♪

いつもと雰囲気の違う演奏会に多くの観衆が魅了されていました。

（文化会館ロビーコンサート）

いつも元気

おなごりフェスティバル　日中イベント

のーろ逍遥　歴史と民俗のあいだ　78

力士（二）「大蛇潟粂蔵」

八幡神社の参道左手に、ひときわ高く聳えている「大蛇潟粂蔵之碑」があります。文字は堂々としていて鮮やかな筆致です。筆者は菅禮之助。雄勝郡出身で運吉・禮治・禮之助と続いた三代は、木材業・鉱業などの分野で成功した財閥です。特に運吉は明治維新後、木山方の材木場（現米代西部森林監督署）の土場を借り受け、井坂直幹来能以前の能代木材界に君臨しました。禮之助は文筆もよく、「錦島三大夫の死」は大蛇潟の生涯を劇化したものです。郷土出身力士に肩入れしていました。

大蛇潟は能代港町幸町の生まれで、明治三十七年に錦島部屋に入門し、四十三年に幕内に昇進し、関脇から大関に昇進しました。突っ張りと、左四つの組み手が得意で、強豪をなぎ倒して人気を得ていました。五扇山が入門した頃は大関で、五扇山はその錦島部屋に入門したのです。大蛇潟は不幸にして大正九年に病を得て現役を退きましたが、八代錦島三大夫の名を継ぎ、部屋の親方として後進の指導に努めました。藤里町出身の大関能代潟、羽後町出身の前頭大蛇山などを育てました。大蛇潟は昭和七年に大日本相撲協会の取締になるなど人望がありましたが、惜しいことに昭和八年五月に亡くなりました。碑は大火後の再建です。

（古内）

●毎月第2・4木曜日発行　●編集と発行　能代市市民まちづくり支援課　〒016-8501　秋田県能代市上町1-3　TEL0185-89-2147　●印刷　㈱大潟印刷

R100　100%再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK　環境にやさしい大豆油インキを使用しています。